

モデルカリキュラムと科目との関係（電気情報工学科）

授業に含まれている内容・要素	数理・データサイエンス 教育拠点コンソーシアムのモデル カリキュラム	科目名（学年）
<p>（1）データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎（統計数理、線形代数、微分積分）」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。</p>	1-6	基礎数学A（1年）
		基礎数学B（1年）
		線形代数A（2年）
		線形代数B（2年）
		微分積分ⅠA（2年）
		微分積分ⅠB（2年）
		情報数学（2年）
		微分積分ⅡA（3年）
		確率統計（3年）
		応用数学ⅡA（4年）
応用数学ⅡB（4年）		
1-7	データ構造とアルゴリズム（5年）	
2-2	情報基礎（1年）	
	メディアリテラシー（1年）	
	情報数学（2年）	
2-7	データ構造とアルゴリズム（5年）	
2-7	C言語（2年）	
<p>（2）AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。</p>	1-1	情報基礎（1年）
	1-2	プログラミング実習（3年）
	2-1	情報基礎（1年）
		メディアリテラシー（1年）
	3-1	プログラミング実習（3年）
	3-2	プログラミング実習（3年）
	3-3	プログラミング実習（3年）
	3-4	プログラミング実習（3年）
3-9	プログラミング実習（3年）	
<p>（3）本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用 企画・実施・評価」から構成される。</p>	Ⅰ	該当なし
	Ⅱ	プログラミング実習（3年） 創造工学（4年）